

研修委員会「社会福祉法人 新生会」現地視察

平成27年11月12日(木)、高崎市中室田町にある社会福祉法人 新生会 法人本部事務所を訪問し視察研修会を実施しました。応対してくれたのは、原慶子理事長、櫻井淳司総務部長(ボランティア研修施設 心泉の家 所長)、・稲垣仁営業部長。本部事務所で原理事長から経営内容の詳細説明を受け質疑応答を行いました。



当法人は昭和13年結核保養所「榛名荘」として開設した後、昭和32年社会福祉法人「新生会」設立の認可を受け、現在11のホーム(特養老人ホーム等)と診療所、温泉つき老人福祉センターを運営、姉妹事業として成人病中心の病院等、多様な福祉事業を展開しています。各種事業収入20億円、従業員328名、居住者500名超(平成27年度)の群馬県が誇る福祉法人です。榛名の自然の中、約10万平方メートルの敷地に診療所・病院などの医療施設まで、多彩な福祉介護機能が連携する「コンビネーションシステム」を構築した「新生会HALCの丘」で「Human Art Life Care (HALC)」の理念のもと独自の事業展開を行っています。

この「Human Art Life Care」は、当法人事業の根幹となっています。人の尊厳や健康を守っていくためには、癒される以上に、ときめく心も大切だという考えの中、自由に自分らしく生きる歓びの連鎖を、スタッフ一人一人が居住者・利用者と一緒に創り出す事を「福祉の芸術化」と位置づけ、介護現場で実践しています。また、スタッフの方々はこの理念に共鳴しており、介護業界の平均勤続年数が約5年と言われる中、当法人スタッフの平均勤続年数は10年を超えます。

質疑応答では、視察に参加した14名の協会会員から質問が続出し、予定の時間を超過するほどでしたが、原理事長から丁寧な説明をいただきました。

事業説明・質疑応答の後、参加者は3班に分かれ、「新生会 HALC の丘」の視察を行いました。広いパブリックスペース・照明設定や絵画設置による演出等リラックスできる施設面での工夫等や、居住者・利用者が置かれた個々の状況に応じた対応、アニマルセラピー等の新たな取組等、新生会の介護現場を確認する事ができ、有意義な研修会となりました。

